

事業所向け・児童発達支援及び放課後等デイサービス自己評価表

NPO法人にわとりファミリー

記入日: 4年 3月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	5	0	0	
	当所より						
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	0	0	・状況によって、もう少し配置されていたら助かると思う時があります。
	当所より	基準は満たしていますが、より多くの職員を配置することにより、療育の更なる可能性が期待できるとも感じています。					
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5	0	0	
	当所より						
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	0	0	・常勤と非常勤の間で、課題点や目標の把握に差があるため、会議や会話を通して差を埋めて行きたい。
	当所より	職員それぞれが療育の質の向上や業務の効率化に向けた取り組みに参画し、日々アップデートしています。					
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者などの意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	0	
	当所より						
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容をホームページなどで公開しているか	7	1	0	1	
	当所より						
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	0	1	
	当所より						
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	
当所より							

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	0	
	当所より						
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	1	
	当所より						
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	1	
	当所より						
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	0	1	
	当所より						
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	1	
	当所より						
	14	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	1	0	1	
	当所より						
	15	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	1	
	当所より						
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	0	1	
	当所より						

	17	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	6	2	0	1	
	当所より						
	18	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	1	
	当所より						
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	1	
	当所より						
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議がいつ行われているか不明 ・会議がない ・相談支援事業所担当者が来所してくれている
	当所より	参画する機会がありませんが、相談支援事業所を利用されている児童については、担当者の方が来所されお話しさせていただいています。					
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者関係機関と連携した支援を行なっているか	5	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて
	当所より	苫小牧市の子育て支援課と連携し、家庭への支援を行った等の事例があります。また、必要に応じて各関係機関と連携をとることができるよう体制を整えています。					
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	5	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いない ・医療的ケア児の利用はないが、他の児童は関係機関との連携を出来る限り取っている
	当所より	看護師が常駐しておらず、現在医療的ケアを必要とする児童の利用はありません。今後そういった整備も検討しています。どのような症状の児童であっても、関係機関との連携を取って支援できるよう体制を整えています。					
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いない ・ケア児の利用は現在ない
	当所より	重症心身障がいのある児童についても、主治医・医療機関と連絡体制を整えています。					
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの申し出があった時
	当所より	必要に応じて通っている学校や園、進学先との情報共有・相互理解を図っています。					
25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの申し出があった時 ・保護者の求めに応ずることの他に、連携の必要性のある児童には、保護者への理解を求めてから連携している。 	

育 た の 連 携	当所より	必要に応じて通っている学校や園、進学先との情報共有・相互理解を図っています。					
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	0	1	・主に小児脳神経・小児神経の専門の医師からの助言 ・コロナ禍の為にできない
	当所より	コロナ禍のため多くの研修に出ていることはありませんが、専門機関や医療関係者などの連携体制を整えている他、動画やオンラインでの研修に取り組んでいます。					
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流等、さまざまな子どもたちと共に活動する機会があるか	1	6	1	1	・コロナ禍の為 ・コロナ禍の為にできない
	当所より	コロナ禍の為、自粛せざるを得ない状況です。					
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	7	1	1	・コロナ禍の為 ・コロナ禍の為にできない
	当所より	コロナ禍の為自粛しております。					
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0	
	当所より	送迎時だけでなく、電話・SNSツールなどを利用して状況や課題を共有しています。					
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	6	1	1	1	・研修などを実施してからだと行いやすいと思う。
当所より	相談を受けて助言などをさせていただいていますが、様々な支援の形があり得ることを念頭に保護者のニーズに合った体制の整備をしています。						
育 た の 連 携	31	運営規程、利用者負担等について丁寧に説明を行なっているか	9	0	0	0	・契約時に説明しているが、それ以降は着目する機会がない
	当所より	契約時にご説明していますが、気になる点がありましたらお問い合わせいただきたいと思います。					
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	1	
	当所より						
33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	9	0	0	0		

保護者への説明責任等	当所より						
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で開催が難しい ・コロナ禍により保護者たちの集まりを自粛 ・コロナ禍により保護者の交流場面はあまり作れない
	当所より	やはりコロナの影響により開催が難しいです。社会情勢に応じて、可能な範囲での開催も視野に入れていきます。					
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0	
	当所より						
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	1	
	当所より						
	37	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8	0	0	1	
	当所より						
	38	全ての子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	1	
	当所より						
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため難しいが、明けてからできることに取り組んでいきたい。 ・コロナ禍の為自粛
	当所より	地域の方々との関わりも子どもたちにとって大切なことと感じていますので、今後はウイズコロナの状況の中でどんなことができるかを考えていきます。					
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	0	1	
当所より							
41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか	8	0	0	1		

当所より						
42	事前に、予防接種や転換発作などの子どもの状況を確認しているか	7	1	0	1	
当所より						
43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	0	1	・保護者からの申し出があった時
当所より	間違えて提供してしまうことがないよう細心の注意を払っています。					
44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	1	
当所より						
45	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	1	
当所より						
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	0	1	・身体拘束をするような場面はない
当所より	興奮し暴れてしまった児童がいた場合、職員が一時的に体を抑えることは想像できますが、身体拘束をするような場面は想像し難いです。					

総括	<p>子どもたちは確実に発達成長しており、これまでの一人一人の記録を見返すとそのことが良くわかります。ご家庭での取り組みと本人の努力が実を膨らませていると思います。これからも繰り返しの取り組みでさらに確実に力となっていくものと思います。</p> <p>2年以上も続くコロナウイルス感染拡大防止策により、子どもたちの距離を保つこと、子ども同士も距離を保つことなどに意識をしながらの日々ですが、にわとりファミリーが目指す子どもたち支援を職員間でも常の話し合いを重ねながら一人一人の課題をこれまで通り支援していきます。保護者の皆さんとともに交流することで日頃の子どもたちの様子や職員の様子を見ていただいたり聞いていただいたりする時間はとても重要でありながらできていないことは本当に不本意です。コロナウイルス感染拡大が収束しましたら、これまでできなかった交流事業を必ず行います。</p> <p>職員は常勤と非常勤の勤務時間が違うため、双方の子どもたちへの基本的支援の違いをなくすため、頻繁に会議を実施しています。今後ともより子どもたちの実践力につながる支援ができる職員となるよう努力してまいります。</p>
----	---

保護者向け・放課後等デイサービス自己評価表

NPO法人にわとりファミリーアプローズ

集計日: 4年 3月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	ご意見	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2			・少し手狭な印象があります。 ・利用人数に応じて、早め早めの連絡をしてくれているので確保されていると思います。	
	当所より	指定基準は満たしておりますが、確かに狭さを感じることはあります。学習以外の時間では目の前の公園等に行き体を動かしております。						
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13				・職員の方の人数も増えて、いろいろなことに対応してくれていると思います。 ・専門的であると思いますが、配置数などは良くわかり	
	当所より	職員配置につきましては基準の1.7倍くらいの員数で子どもたちと関わっており、そのうち80%は保育士・児童指導員です。						
	3	設備等は、様々な利用者に適した配慮がなされているか	12	1				
当所より								
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	13				・いつも本人の困っていることをキャッチした支援計画ありがとうございます。 ・本人に話を聞くなど、できる範囲でその時々に合わせて対応してくれていると思います。	
	当所より	子どもたちが何を苦手とし、どのように苦しんでいるかを保護者の方から聞かせてもらい、子どもさん本人ともよく話をし困ったと思うことを少しでも減らしていこうと対応しております						
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	3				
	当所より							
	6	子どもの通う学校との連携は取れているか	12	1				
当所より								
7	他施設の子どものたちとの活動など多様な交流の機会があるか	6	6	1			・あまり聞いたことがありません。	
当所より	他施設の子どものたちとの活動はほぼありませんが、コロナウイルスの感染拡大防止策以前は施設近隣の子どものたちとも一緒に遊ぶ機会がありました。以前のように苦小牧市の体育館やコミュニティセンターなどに出掛け身体を動かしたりする機会を早く作りたと思います。							
保護者への説明等	8	支援の内容や利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	当所より							
	9	発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか	13					
	当所より							
	10	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					・できていると思います。
	当所より	送迎時だけでなく、電話・SNSツールなどを利用して状況や課題を共有しています。						
	11	保護者に対して面談、助言等の支援が行われているか	13					・聞くとすぐに答えてもらえたり、対応してくれるので助かります。
	当所より	相談があった際など、必要に応じて面談等をおこなっています。そういった時間をしっかりと確保することは重要と考えています。						
	12	行事など保護者同士が交流する機会、保護者同士の連携の支援などがあるか	10	2	1			・去年はコロナのこともあり、子どもたちのみで行うことが多く、親同士の交流の場は少なかったと思う。 ・感染症の問題があるのでできればは難しいと思います。
	当所より	ウイズコロナの状況下であったとしても、今よりもっと緩和され活発に活動できるようになることが願いです。						
	13	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応されているか	13					・何度も話し合いの場を作ってもらい、その度にどうすればいいのか相談でき、とてもありがたかったです。 ・対面だけでなく、LINEなどでも相談できて対応も早く適切です。
	当所より	保護者の苦しい思いが少しでも減っていくことが、子どもの発達にもつながると信じております。どのような時でも一人で苦しまず、一緒に考えていきましょう。						
	14	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	当所より							

	15	定期的に会報やホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13				
	当所より						
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13				
非常時等の対応	当所より						
	17	運営規定において緊急時の対応についての記載がなされているか	12	1			
	18	非常災害の発生に備え、定期的に非難・救出・その他必要な訓練が行われているか	11	2			
満足度	当所より						
	19	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	1		・自分の将来のために進んで通っているようでした。 ・楽しみにしていることがあると喜んで行きます。
	20	事業所の支援に満足しているか	13				・親から見ても助かっています。 ・褒めるときは褒めて、叱るときは叱ってもらい、バランスが取れていて満足しています。
	当所より	子どもたちはもとより、保護者の皆さんから通っていてよかった、できることが増えたといっていたいただける場所でありたいと思います。					

保護者の声	<p>・突然の変更にも対応してくれて助かります。</p> <p>・たくさん話し合いの場を作ってもらえたこと、その都度対応してくれたこと、とても助かりました。コロナのこともあり、さまざまな行事が中止または子どもたちのみだったことが残念ですが、これからもよろしくお願ひします。</p>
総括	<p>保護者の心配事への対応と、子どもたちへの支援を並行して行うことがより発達へと繋がっていくものと考えております。コロナウイルス感染防止の対応のため、保護者間の交流事業を行えていないことが大変残念でした。そのような状況下でも今年度、外部の方々のご協力により船釣り体験と、にわとりファミリー独自のマラソン大会を開催できたことは、子どもたちの頑張る姿を保護者の皆さんに見ていただける機会となりました。これからも保護者・子どもたちの顔を見てよく話ができ、背景を見ながら一人一人に適切な発達支援を行う努力をまいります。</p>

保護者向け・放課後等デイサービス自己評価表

NPO法人にわとりファミリー

集計日： 4年 3月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	4			・少し密なような気がする。
	当所より	基準は満たしておりますが、定員10名がいる場合は狭く感じられることもあるかと思ます。					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17				
	当所より						
	3	設備等は、様々な利用者に適した配慮がなされているか	16	1			・たくさん模様替えして、動線がスムーズになるよう工夫、考えがなされている。
当所より	どのような配置にすると子どもたちの動きがスムーズになるか、少しでも広く施設を使えるかを考えております。模様替えのことをわかっていただき大変恐縮です。						
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	17				・子どもの苦手な部分を補ってもらえているので満足しています。
	当所より	子どもさん自身の苦手意識が減っていくこと、常に新たなことにチャレンジできるようになることなどを目標にして事業所としても努力しています。					
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	3			
	当所より						
	6	子どもの通う学校との連携は取れているか	11	5	1		・お迎えの時、担任の先生と職員が話をしている。
	当所より	各学校の担任にもよりますが、「今日は給食をたくさん食べました」とか「今日も元気に過ごしました」などの固定的な引継ぎではなく、「何を苦手と今日現在このような取り組みをした」等の話や「にわとりファミリーではこのような取り組みをしている」などの話ができることが、共通理解となり子どもさんの発達につながると考えております。					
7	他施設の子どもの活動など多様な交流の機会があるか	6	8	3		・よくわかりません。 ・コロナ禍なのでしないでほしい。	
当所より	他施設の子どもの活動はほぼありませんが、コロナウイルスの感染拡大防止策以前は施設近隣の子どものたちとも一緒に遊ぶ機会がありました。以前のように苦小牧市の体育館やコミュニティセンターなどに出掛け身体を動かしたりする機会を早く作りたと思います。						
保護者への 説明等	8	支援の内容や利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			・忘れた。
	当所より	利用契約の時に契約書の読み合わせをさせていただいております。					
	9	発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	2		1	
	当所より						
	10	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか	17				・困り事など相談しやすい。
	当所より	困りごとをお話いただき、にわとりファミリーも共通理解をさせていただきながら子どもさんの発達に繋げていきたいです。					
	11	保護者に対して面談、助言等の支援が行われているか	16	1			・困ったことがあったときなど、すぐに相談に乗ってもらえてとても心強く感じています。 ・話を聞いてもらえるだけでとても気持ちが軽くなる。
	当所より	保護者の方が子どものことを一番に理解し、子どもさんが困りごとをなくしていけるような子育てができるよう、保護者の一番の応援団となっていくことも私たちの役割です。					
	12	行事など保護者同士が交流する機会、保護者同士の連携の支援などがあるか	12	5			・コロナ禍はきびしい。
	当所より	ウイズコロナの状況下であったとしても、今よりもっと緩和され活発に活動できるようになることが願いです。					
13	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応されているか	16	1				
当所より							
14	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					
当所より							

	15	定期的に会報やホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17				
	当所より						
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17				
	当所より						
非常時等の対応	17	運営規定において緊急時の対応についての記載がなされているか	16	1			
	当所より						
非常時等の対応	18	非常災害の発生に備え、定期的に非難・救出・その他必要な訓練が行われているか	14	3			
	当所より						
満足度	19	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3			・たまに友達と帰りたくて「やめたい」と言ったりする
	当所より	友だちとの関係では確かに一緒に帰りたいたきもあるかと思えます。ご家庭で話し合い友だちと帰ってもよい日などを考えていただければと思います。					
	20	事業所の支援に満足しているか	17				
当所より	大変ありがたいです。今後も職員一同努力を重ねていきます。						

保護者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において難しい場面が多いと感じます。 ・子どもの様子を詳しく教えて頂いて、本人が楽しんで勉強出来ているのも伝わります。本人の自信に繋がっていることや、自主的にテスト勉強などに取り組む意識になれていることなど、利用当初とは変わり感謝しています。これから中学生になり、また困ることもあると思いますが、これからもよろしくお願いします。 ・お姉ちゃんより週に1日多く利用していて、不機嫌のままいかせてしまうこともありますが、職員がやる気を起こしてくれて、帰りの車の中などで「今日頑張ったよ!」と言ってくれて安心しています。時計の勉強もいつの間にか出来てびっくりしました。まだまだ気分でやる気が出たり出なかったりすると思うんですが、よろしくお願いします。本人が楽しんでいるので、感謝しています。家だと全くやりたがりませんが、私も根気強く教えます。 ・今はコロナ禍の中、職員の皆様が力を合わせて頑張っておられ、安心して通うことができます。感染者がそのまま出ないことを祈るばかりで、早く終息してほしいですね。意見はありません。頑張ってください。 ・楽しい場所、遊びの場所というより勉強する場所として通っているのですごく助かっています。 ・いつもご指導ありがとうございます。 						
総括	<p>子どもたちは学校からの宿題を行うことは定着しており、その後苦手意識のある学習やそのほかの取り組みも、仕方なくでもやっていくという様子は辛そうな時もありますが、それを乗り越えて「できた」と自分自身が体得することで、いつの間にか苦手意識は少なくなっています。これも保護者の皆さんとの連携によるものであり子どもたちの意識は高くなってきています。「できた!」という、うれしそうな顔を見せてもらうことができることは、にわとりファミリーの職員の喜びでもあります。コロナウイルス感染防止策につきましても、ご家庭で細やかに対応いただき学校等で感染者が出ても拡大することなくすんでいるのは、保護者の皆さまのご協力のおかげです。今後多くの皆さんとともに集まれるような時期になりましたら、これまでできなかった施設外活動も行いたいと考えております。</p>						

保護者向け・児童発達支援評価表

NPO法人にわとりファミリー

集計日: 4年 3月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	当所より						
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				
	当所より						
	3	設備等は、様々な利用者に適した配慮がなされているか	2	1			・バリアフリーになっていない
	当所より	可能な限り様々な利用者にとって過ごしやすい場所を目指していますが、バリアフリーは今後の課題かと思えます。					
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	3				
当所より							
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	3				
	当所より						
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「発達支援(本人支援および移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	3				
	当所より						
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				
	当所より						
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3				
	当所より						
	9	子どもの通う学校との連携は取れているか	3				
	当所より						
10	他施設の子どもたちとの活動など多様な交流の機会があるか	3				・コロナでできないのでは?	
当所より	コロナにより難しいのが現状です。今後何らかの形で実現できればと考えています。						
保護者への	11	運営規定や利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	当所より						
	12	発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか	3				
	当所より						
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				
	当所より						
	14	保護者に対して面談、助言等の支援が行われているか	3				
当所より							
15	行事など保護者同士が交流する機会、保護者同士の連携の支援などがあるか	1	2			・コロナでできないのでは?	
当所より	コロナにより難しいのが現状です。今後何らかの形で実現できればと考えています。						

説明等	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応されているか	3				
	当所より						
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	当所より						
	18	定期的に会報やホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3				
	当所より						
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3				
	当所より						
	20	運営規定において緊急時の対応についての記載がなされているか	3				
非常時等の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に非難・救出・その他必要な訓練が行われているか	1	2			・わからない
	当所より	定期的に実際の避難場所へ避難するなどの訓練を実施しています。					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	1			・怒られた後は「行かない」と言う
	当所より	必ずしも楽しいことばかりではなく、子どもにとって嫌なこともあるかと思いますが、全て発達の為と考えています。全く楽しくない、行きたくない場所になってしまっはいいけませんので、楽しみになれるような取り組みも行なっております。					
	23	事業所の支援に満足しているか	3				
当所より							

保護者の声	
総括	施設の都合上、確かにバリアフリーにはなっていません。その中でどのように工夫しながらわとりファミリーでの時間を過ごすかということをおもなで考えながら進みたいと思います。災害時を想定した避難訓練につきましては春と秋に地震・火災・水害等その都度避難先を変えるなどしながら実施しておりますが、その日のよって利用がない子どもさんには体験できないこともあることは事実です。職員がそれぞれの担当を決め災害時どう動けるかという訓練としましては必ず行っております。にわとりファミリーでの繰り返し繰り返しの支援は、時に子どもさんにとっては怒られた記憶のみにとどまることがあるかと思いますが、今後もどうして叱られるのかを理解できるような支援をする努力を重ねてまいります。

保護者向け・児童発達支援評価表

NPO法人にわとりファミリー アプローチズ

集計日: 4年 3月 31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2				
	当所より						
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2				
	当所より						
	3	設備等は、様々な利用者に適した配慮がなされているか	2				
	当所より						
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	2				
当所より							
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	2				
	当所より						
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援および移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	2				
	当所より						
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				
	当所より						
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2				
当所より							
9	子どもの通う学校との連携は取れているか	1	1				
当所より							
10	他施設の子どもたちとの活動など多様な交流の機会があるか		2				
当所より							
保護者への	11	運営規定や利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				
	当所より						
	12	発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか	2				
	当所より						
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか	2				
	当所より						
	14	保護者に対して面談、助言等の支援が行われているか	2				
当所より							
15	行事など保護者同士が交流する機会、保護者同士の連携の支援などがあるか	1	1				
当所より							

説明等	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応されているか	2				
	当所より						
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2				
	当所より						
	18	定期的に会報やホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2				
	当所より						
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2				
当所より							
非常時等の対応	20	運営規定において緊急時の対応についての記載がなされているか	2				
	当所より						
	21	非常災害の発生に備え、定期的に非難・救出・その他必要な訓練が行われているか	1	1			
当所より							
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2				
	当所より						
	23	事業所の支援に満足しているか	2				
当所より							

保護者の声	
総括	アプローチでは未就学児童が多くないため、小中学生のお兄さんやお姉さんとのかかわりが多いのですが、皆の可愛がられ優しくかわってもらえることは、大変良い経験となっています。学年が上の子どもたちにとっても小さな子を守ろうとする心が育ち双方にとって、良い関係性を築いています。言葉の習得にも有効的で、今はマスクをしている状況下ですが、大きな口を開けて相手の目を見ながら言葉話すということが、皆にとってもよい練習となっています。